

北のわらしべ

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)

連絡先：〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-35

TEL 011-776-7981 [法人本部]

《新年号》 令和6年1月31日発行

能登半島地震で命を亡くされた方、そのご家族の方々へ

心からお悔やみ申し上げます。

理事長 川本 明良

2024年は元旦の能登半島地震、2日の羽田空港滑走路での飛行機事故など、まさに波乱の年明けとなりました。多くの団体や個人がボランティアとして能登を訪れ、支援活動が始まっています。震災により大きな被害を被られた方々、避難生活を余儀なくされている方々に心からお見舞い申し上げます。

先日、東京で開催された研究会議の場で福祉サービスの質向上委員会副委員長の平野方紹氏の「福祉サービスの質の向上にどう取り組むか」というテーマのご講演を聴かせて頂きました。お話の中で「利他」(利他⇔利己)の思想という内容についてお話があり、これを福祉の仕事の専門性と関連付けて「相手にとって何が良いのかを考える」こととしてとても分かり易くお話してくれました。振り返ると「利他」の姿勢は、多くの福祉を志す人の動機付けや契機として語られることが多いという事実を思い出しました。

震災ボランティアに関連する支援団体や個人の支援活動も、見返りを期待するものでなく、まさに「利他」の気持ちから、被災された皆さんに寄り添う活動といえます。東北震災の際に海外のレポーターが取材に訪れ、被災し避難所生活を送る人たちが「私たちよりもっと困っている人の応援をしてほしい」と語る様子に、自らの厳しい状況を受け入れ、他者を思いやる姿に感動したことが伝えられたそうです。福祉の専門性については他者を尊重する意識に基づき、一人一人の利用者を理解するための客観的視点や知識、情報、技術などを含めた「意識と知識」の両方が必要です。とても残念なことに、障がいのある人への虐待が続く中、私たち支援者の原点ともいえる「利他の思想」を学ぶことはとても大切なことのように感じます。虐待防止という視点からも、今、まさに福祉関連に従事する人の姿勢が問われているといえます。



(ボランティア募集)

先日、福祉関連の取材をするとても熱心なライターの方とお話できる機会がありました。その方から「障がい者—健全者という表現が使われてきましたが、”健全者”という表現は今も使われていますか？」とのご質問を受け、考え込んでしまいました。「障がいのある人—障がいのない人」という表現は、問いへの答えとしてふさわしくないと感じます。わらしべ会が学ぶコンダクティブ教育の中心となる理論では「Dysfunction ディスファンクション(その人らしい暮らしができない状態)」に対する表現を「Orthofunction オルソファンクション(その人の望む生活を実現した状態)」と呼んでいます。この理論に於いては障がいの分類や重症度とは関係なく、行為や活動、生活や暮らしが基準となります。ある意味で、障がいの有無を基準としないと考えることもできます。

「地域共生社会」を形成するためには、障がいの有無にかかわらず、その人らしい生活を実現できることが目標となるべきです。既に社会は「障がい」という概念にとらわれない、新しい時代を迎えているとも感じます。そして共に暮らす社会の為には「他者を思いやる姿勢」が不可欠になることを、震災という厳しい状況から私たちが学ぶ必要があると感じます。



(若松英輔著/はじめての利他学)

「婦人保護」から「困難な問題を抱える女性への支援」へ大転換

女性支援に関する法律の成立に関連して、女性自立支援団体の横田千代子会長の基調報告を聴かせて頂きました。戦後からこれまでに続き、売春防止法を根拠とする女性自立支援の取り組みについての変遷と、成り立ちについての学習機会となりました。今後の女性支援のあり方は「女性の福祉」「人権の尊重・擁護」「男女平等」の理念のもとで、制度化されることになったことなど、これまで何十年も女性の自立支援に取り組んできた女性自立支援関連の皆さんの熱意が伝わるお話でした。



大滝わらしべ園 合併号 札幌わらしべ園

大滝わらしべ園

〒052-0313
伊達市大滝区大成町 10
Tel 0142-68-6344
FAX 0142-68-6345
Mail waras@ootaki.tv

苗穂第二事業所

〒065-0043
札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35
Tel 011-776-7981
FAX 011-776-7982
Mail naeojimu@hotmail.com

大滝・札幌合同ハロウィンレクリエーション 10月31日に大滝事業所と札幌の苗穂第二事業所で、合同ハロウィンレクリエーションを行いました。まずは大滝からドラキュラやカエル、トナカイといった様々な仮装を披露して下さいました。次にインドネシアから来た職員2名の自己紹介をインドネシア語でしていただきました。しかしインドネシア語がわかる方は誰もおらず、日本語でも同様の内容をお話していただきました。皆さん馴染みがない言語のため、「難しいね〜」、「名前のところだけは聞き取れたね」と話されていました。その次にインドネシア出身のお二人から日本の歌を披露していただきました。曲は「もみじ」で、慣れない日本語の歌を一生懸命に歌って頂き、皆さん歌が終わると拍手で盛り上がりました。



そして大滝組の出し物企画として、激辛インドネシア料理でのロシアンルーレットを行いました。職員が本場の激辛料理を食べ、誰が辛いのを食べたのかを当てるクイズを行いました。辛い物を食べた職員は辛くないふり、辛くない料理を食べた職員は辛いふりをして、誰が食べたのでしょうか？というそれぞれの演技力が試されるクイズです。運悪く激辛食べた職員は、必死に辛くない様子を見せるなどして、クイズではほとんど正解者が出ませんでした(笑)。皆さん職員の演技力に驚かれていましたが、激辛を食べた職員は汗が止まらず、とても大変そうでした。利用者の皆さんもインドネシア料理を食べてみたいとのことでしたので、辛みの入っていないものを召し上がっていただきました。ミートパイのようで程よい塩気があり、おいしそうに召し上がっていました。

軽食の後は札幌組の出し物です。後日大阪わらしべ会との歌合戦で披露する「365歩のマーチ」を披露しました。すでに2か月以上練習しており、息を合わせて踊れました。大滝の皆さんから「すごいね〜！」と大きな拍手を頂きました。

いよいよ合同レクリエーションの始まりです。まずはピンポン玉リレーです。大滝組には創作で作成したハロウィンカボチャケースを使っていただきました。札幌組は普段から活動で行っているため、細い筒でリレーに臨みました。「よいドン！」の合図でそれぞれスタートし、リレーは拮抗していました。最初は札幌が勝ち、2回戦では大滝が勝ちました。そして最終戦では再度さっぽろが勝ち、リレー勝負は札幌が勝ちました。大滝メンバーは「悔しいー!」、「札幌強かったね」と言いながらも、盛り上がり楽しまれている様子でした。続けてお化け引っ張りゲームをしました。みんなで書いたお化けにペットボトルをつけ、紐には大滝の名産であるかぼちゃを付け、お化けを倒さないように引っ張りあう個人種目の競技です。かぼちゃの重みがこの競技のみそで、うまくかぼちゃを回収しながら、お化けをひっぱり合います。ゆっくりと慎重に引っ張る方もいれば、一か八かで勢よく引っ張る方もいてそれぞれの性格や戦術が見られました。最終戦では職員間で行い、皆さん「〇〇さんがんばれー!」「〇〇さんもっと早く!」と応援が飛び交っていました。どちらのレクリエーションも利用者さん、職員と一緒に白熱した競技となりました。楽しい時間はあっという間、レクリエーションが終わると最後に札幌組から今日の感謝の言葉を贈り、全員で記念撮影を行いました。皆さん素敵な笑顔で写真が撮れました。「またいっしょに行事をしましょう」と言葉を交わし、楽しいハロウィンレクリエーションは終わりました。(白熱したリレー



浦河わらしべ園

〒057-0171 浦河郡浦河町西舎 124-1
Tel 0146-28-1801 FAX 0146-28-1991
Mail urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

クリスマス会実施しました 12月23日にはクリスマス会を行いました。当日は浦河の女声コーラス『コール・リュミエール』の皆様にご来園いただきました。利用者さんと職員も一緒にコーラスに参加させていただき「赤鼻のトナカイ」と「上を向いて歩こう」を歌いました。本番に向けて12月に入ってから毎週1回練習の時間をつくり、利用者さんと職員一緒に声出しをしていました。最初は少しテレがありなかなか声がでない人が多かったのですが、回数をこなしていくにつれしっかりと「歌」になっていきました。練習の成果もあり本番ではコーラスの皆様には劣らない歌を披露することができました。その他職員の出し物としてハンドベル演奏でクリスマスメドレーを行いました。



(楽しい!クリスマス)

昼食はクリスマス特別メニューを提供しました。チキンピラフにキノコのクリームスープ、エビフライ&ハンバーグ、ポテトサラダなど。デザートはケーキは4種類を用意し又、食事会場設営時間中にはロビーに写真撮影ブースを設置しました。来園されたご家族の皆様と一緒に、又は利用者様同士など、思い思いの記念撮影をされていました。



大阪わらしべ会とのリモート交流～歌合戦～



苗穂第二事業所では今年も大阪わらしべ会のリモートでの歌合戦に参加させて頂きました。今年は水前寺清子さんの「365歩のマーチ」を披露しました。今回の歌合戦に向け、練習を始めたのは8月でした。練習中何度か振り付けの変更や踊るポジションチェンジと、よりよいパフォーマンスを披露するために工夫を重ねました。毎日のように練習を重ね、曲がかかると自然と振付が出るようになるほど皆さんの意識に根付いていました。

そして待ちに待った当日は午前中から練習を行い、本番の発表に向けました。ただあまり練習をしようとする皆さんの体力が持たないため(笑)ほどほどの練習でした。大阪組の発表が進む中いよいよ札幌の番が回ってきました。お茶を飲んで一息ついていたところに出番が回ってきて大慌てでした。急いで皆さん定位置について、アート活動で作成したクリスマスツリーも飾りました。

川本理事長より札幌わらしべ園の説明を行なわれ、その後利用者代表から挨拶を行い、いよいよお披露目です。秘策(?)として水前寺清子さんの髪型を模し、みんなで七三分けにしました。また髪の短い方は手作りかつらを被りました。北海道感を出すために事業所周辺に積もった雪を使い、雪だるまも配置しました。ダンスだけでは物足りないのでは?と考えた、とっておきでした。

皆さん気合が入っており、緊張した雰囲気もありました。曲が始めると振付を行い、普段より大きな声で歌いながら踊りました。職員も皆さんに交じり一緒に踊り、リモートで映らない箇所でもリズム合わせ用の隠れダンサーもいました。2番までしっかりと踊り抜き、みなさん一安心でした。審査委員による点数が発表され、なかなか良い点数でした。発表を終えると、大阪わらしべ会の方たちの出し物を見て、最後の結果発表を待ちました。それぞれに点数が発表され、かなりの高得点のチームもあり、ざわめきもありました。

昨年は初出場初優勝を飾り、「2連覇」を目標に数カ月にわたる練習を重ねました。ついに結果発表が始まり、下位賞から発表され、札幌は呼ばれずついに優勝者の発表です。しかしここでも名前が呼ばれず、今年も入賞も逃しました。しかし司会賞では、審査員の票が入り、表彰に入ることが出来ました。結果発表まで終わり、皆さん「楽しかったね～」、「頑張ったけど、惜しかったね」と今日までの練習を振り返るようそれぞれの感想が出ていました。職員は2連覇への意気込みが強かったので、一番残念そうでした(笑)。

無事令和5年度の歌合戦は終了したのですが、実は次に参加する際の出し物をすでに決めていたため、春先頃より始動予定となっています。どんな出し物であるかは、また歌合戦が近づいてきたら皆様へお伝えしたいと思いますので、お楽しみにして頂けたらと思います。

札幌わらしべ園 本町1-4 ホーム建設中

札幌わらしべ園 4棟目の新しいグループホームの建設が進んでいます。4月の竣工を目指して建物の基礎部分・躯体部分は完成し、内装工事が始まりました。床・壁紙など細かな仕様も決まりました。5月には新しい利用者さんを迎えるべく、工事の完成を待ち遠しく感じます。完成しましたら紙面を通じてご紹介します!



災害への備えが必要です

能登半島地震、東北の震災や熊本の震災、北海道胆振震災など、日本では地震災害と無縁な場所がないことを痛感します。さらに2030年から2040年の間に起こる可能性が高いとされる南海トラフ地震については、8万2000人もの人が建物の倒壊等によって亡くなることが想定されています。福祉事業者には自然災害対策や災害時に事業継続のための計画が義務付けられていますが、地震災害に備えた準備をしておくことは家庭でも必要なことです。災害発生前の家族で災害時の備えについて話しあうことが必要かもしれません。」



職員紹介



氏名：エプル・サエプロー
 出身地：インドネシア
 趣味：料理をすること
 特技：バドミントン、11月に大滝で他職員と大会に出場しました。
 好きな食べ物：うどん、そば、寿司

大滝わらしべ園では、先輩たちが優しくしてくれて色々なことを教えてくれて本当に感謝しております。これからも仕事を一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



お 知 ら せ

❁ ありがとうございます ❁

順不同にてご紹介

ご寄附・ご寄贈頂きました。

- | | |
|--------------|----------------|
| 新居 光江 様 | 高橋 節子 様 |
| 谷口 貢 様 | 奥田 管理 (丸十漁業) 様 |
| 村井 榮 様 | 浜田 きよ子 様 |
| 室蘭建設業協会 様 | 日高建設協会 様 |
| 浦河ロータリークラブ 様 | |

皆様のご支援に感謝申し上げます。

健康づくり！みんなのタッピー体操
タッピーわらしべ園のご案内

毎月第2・4木曜日 10～11時開催

- | | |
|--------|--------|
| 1月 11日 | 1月 25日 |
| 2月 8日 | 2月 22日 |
| 3月 14日 | 3月 22日 |



場所：札幌わらしべ園苗穂第一事業所
(旧氏家医院)

内容：みんなのタッピー体操他
対象：どなたでも参加できます♪
持ち物：体操用タオル、水分

※感染対策にご協力ください

(年明けより連日の降雪)

年明けからの降雪で札幌の事業所は大きな雪山が出来ました。東区事業所に設置した融雪槽が、大活躍？ 雪解けが待ち遠しい季節ですが、職員の除雪作業はもうひと頑張りです。

* 行事表 *

		大 滝	浦 河	札 幌	法 人					
1月	未定	そり遊び	2日	騎馬参拝	4日	通所事業所				
			24日	新年会 (歳末助け合い 義援金利用)	6日	土曜営業日				
			上旬	絵馬作成レク	11日	介護予防体操				
2月	未定	大滝スキー マラソン大会	上旬	節分レク	20日	土曜営業日				
					2日	節分祭	6日	運営者会議		
					8日	介護予防体操	月末	新規グループ ホーム申請		
3月	未定	ホワイトデー 調理実習	1日	寿司バイキング	22日	介護予防体操				
					6日	採用説明会	未定	監事監査		
					9日	土曜営業日				
					14日	介護予防体操				
					上旬	ひな祭りレク	18日	採用説明会	未定	理事会
					下旬	健康祈願祭	22日	介護予防体操		
26日	採用説明会									

編集後記

能登半島地震が発生し、被災され避難生活を送る方の厳しい状況が報道されています。ボランティアとして直接支援に向かうことが難しい人も多いようですが、募金など間接的な支援があちこちで受け付けられています。先日、スーパーに買い物に出かけた際、被災された方へのお見舞いのメッセージとともに募金箱が、設置されている事に気づきました。



(募金の呼びかけ)

小さな子どもが母親と共に募金する様子を見て、「できることから」支援の輪を広げることがはとも大切だと感じました。最後になりましたが、今年もよろしくお願いたします。

編集職員一同